

わが街 Watching

子ども目線で防犯を訴える

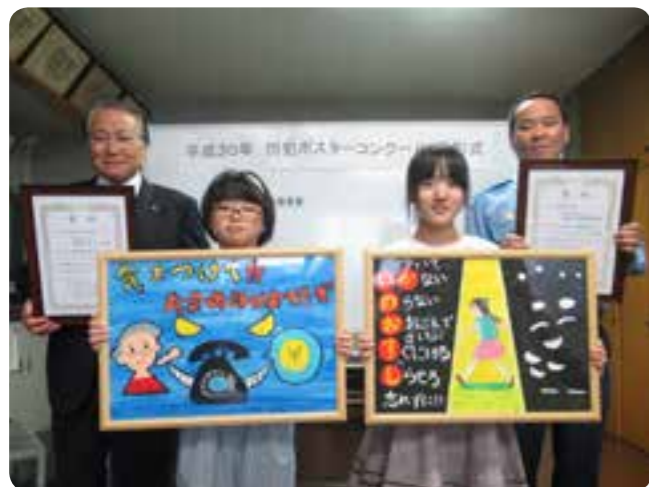
防犯ポスター表彰式、防犯教室、防犯ブザー配布

10月11日、田川警察署で「第6回防犯ポスターコンクール表彰式」が行われ、田川防犯協会連合会長賞を受賞した北島まりんさん（弓削田小学校5年）と田川警察署長賞を受賞した坂木玲維彩さん（中津原小学校6年）が佐々木淳同連合会副会長（写真左端）と河野修久田川警察署長（写真右端）から表彰されました。

このコンクールは、小学生の防犯意識を高めることを目的に同連合会管内（田川市、香春町、糸田町、福智町、赤村）の小学校に呼び掛けており、56点の力作が寄せられました。北島さんは高齢者が振り込め詐欺に遭わないようにと願って「気をつけて！ お金のお話は全てさぎ」と題し、坂木さんは登下校の安全をテーマに「ついてい

かない、のらない、おおごえでさげぶ、すぐにげる、しらせる」という「いかのおすし」の合い言葉をポスターで訴えました。

10月18日には、弓削田小学校で防犯教室が行われ、全校児童435人が参加しました。不審者が校内に侵入したことを想定して校内放送が流れ、子どもたちがすばやく体育館に避難。不審者に変装した田川警察署生活安全課職員が体育館に現れると職員2人がさすまたで取り押さえる迫力ある実演が行われました。子どもたちは「いかのおすし」の合い言葉を大きな声で唱和し、不審者に声をかけられた時の対応を学びました。最後に、田川防犯協会連合会から1年生に防犯ブザーが配布されました。



▲自信作を手にする北島さん(左)と坂木さん(右)



▲防犯ブザーを受け取る児童代表

新中学校に対する要望を提出

田川市中学生生徒会サミット

10月1日、市民会館で「第6回田川市中学校生徒会サミット」が開催され、市内全8校の中学校から生徒会の代表者が一堂に会しました。

今回のテーマは「新中学校の再編に向けた児童生徒の要望」。猪位金学園を除く7校を2校に再編するという市の統合計画を受け、各校が事前に校内アンケート実施。その結果をサミットで発表しました。また、各校混合の4班で実施したグループ協議では、すべての班が教室へのエアコン設置を挙げ、学習しやすい環境の重要性を訴えました。今回は初めて市内9小学校代表児童を傍聴に招き、児童たちは各校の特色のある発表や白熱する議論に聞き入っていました。



▲中学生の真剣な議論に興味津々の小学生たち

災害復旧支援金を贈呈

後藤寺商店街振興組合が平成筑豊鉄道を応援

10月23日、後藤寺商店街振興組合が、昨年の豪雨で被災した平成筑豊鉄道へ災害復旧支援金を贈呈しました。

これは、同組合が7月28日と8月4日に開催した「夜市」の来場者や商店街の買い物客などから集まった支援金で、夜市で販売した「ちくまる君」グッズの売上金と一緒に平成筑豊鉄道代表取締役の河合賢一社長（写真左）に手渡しました。

「日頃当たり前に利用していたありがたさに改めて気付きました」と後藤寺商店街振興組合員の福井志穂さん。温かい善意を受け取った河合社長は「ご迷惑をおかけした分、後藤寺をはじめとする地域のみなさんに恩返しができるよう、より一層頑張ります」と決意を語りました。



▲募金箱には1日も早い復興を願うメッセージが添えられています

ICTで国境を越える

シンガポールの中学生と交流授業

10月16日、田川中学校の2年生26人が、Skype（ビデオ通話ソフト）でシンガポールの中学生と交流しました。

これは、ICT教育の取り組みのひとつで、一昨年に全中学校に導入した電子黒板を使った英語の授業。生徒たちは「have to（～しなければならない）」などの助動詞を使って英文を考え、お互いに英語で自国の文化や学校生活などを紹介したり、質問や答えを交わしたりして交流しました。

海外の中学生との英会話を初めて体験した生徒たちは「英語の発音はシンガポールの方が断然上手。私たちももっと勉強しないとイケないと思いました」と刺激を受けていました。



▲笑顔で言葉を交わし、文化の違いなどに驚いていました

オリーブが立派に実ったよ！

田川科学技術高等学校でオリーブ初収穫

10月22日、田川科学技術高等学校で、同校の生徒15人が約1年間大切に育ててきた約20本のオリーブから実を収穫しました。

このオリーブは、新しい市の特産品を開発する6次産業化の取り組みとして一昨年11月に植えられた苗木で、同校生命科学科の生徒が栽培を管理しながら、田川で育成・活用できる品種を研究しています。初収穫の収量は合計472個・1010g。大きさや数など品種や苗ごとの実りの違いを記録したり、専用の機器を使った搾油の工程を体験したりして研究を深めました。生徒たちは「無事に育ってくれて嬉しい」「経験を今後にかきたい」など思いを語りました。



▲ひとつひとつ手作業で実を摘み、丁寧に搾油しました